

2019年6月17日

窯業系建材「SOLIDO typeM」
JCD プロダクトオブザイヤー2019 受賞



SOLIDO
typeM_LAP / FLAT

このたび、窯業系建材の「SOLIDO typeM」が日本商環境デザイン協会(JCD)主催のプロダクトオブザイヤー2019の準グランプリを受賞しました。昨年の「SOLIDO typeF coffee」に続き、2年連続プロダクトオブザイヤーの受賞となりました。

プロダクトオブザイヤー2019とは、JCD賛助会員より2019年1月31日現在で販売されている一押しの製品を募集し、正会員である商環境デザイナー等の方々からの上位3点の投票により、グランプリ、準グランプリが選定されるものです。今年度で13回目のプロダクトオブザイヤー2019には、28社46点の製品エントリーがありました。

◆プロダクトオブザイヤー2019結果

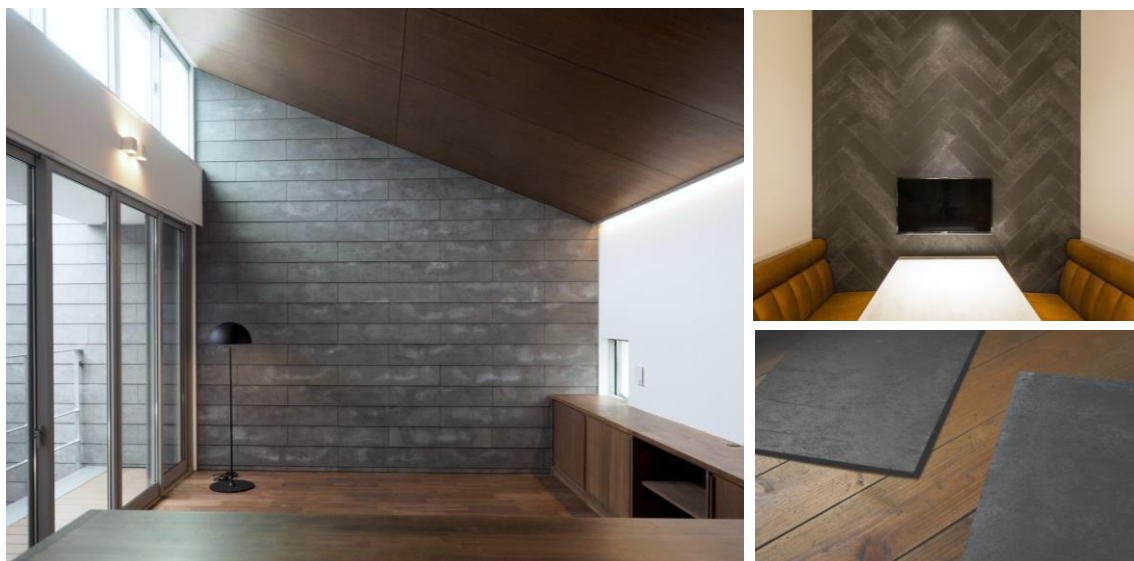
- グランプリ (1位) DNL PROFILE SYSTEM / DNライティング株式会社
- 準グランプリ(2位) SOLIDO typeM[内装・外装ボード] / ケイミュー株式会社
- 準グランプリ(3位) ALBEAM Curtain Wall TRANSOM Type / 不二サッシ株式会社

◆SOLIDO typeM審査評 JCD理事長 窪田 茂 氏

デザイナーが求める素材感とは、その素材がもつ質感をいかに表現できているか、という事であると思うが、このプロダクトはそれを見事に表現している。均質性よりも偶然性を良しとし、それを製品の個性とする発想が、これからの商品開発の在り方のひとつではないだろうか。
なおかつ、屋内でも屋外でも使えるという汎用性も素晴らしい。

◆JCDプロダクトオブザイヤー2019

http://www.jcd.or.jp/productoftheyear_2019/index.html



「SOLIDO typeM」は、セメント本来の質感を生かした薄くて強靱な無垢の建築素材です。

セメントから出るエフロも自然な意匠とし、1枚として同じものはない無垢な建築素材を作りました。芯まで同じ材料で成形することで、どこの切断面からも素材を感じることができます。

形状は2種類あり、「LAP」は内外壁使用できる下見板張り商品、「FLAT」はフラットに仕上がる内壁専用商品です。2019年3月には、「FLAT」に従来のサイズ(606 mm×303 mm)に加え、ハーフサイズ(606 mm×151.5 mm)を発売。ヘリンボーンスタイルなどに使いやすいサイズで、カットの手間を掛けることなく、貼り方のバリエーションが広がりました。

色は、シンプルに原材料のみで表現した「セメント」色と、セメント素地に酸化鉄を練り込んだ「鉄黒」色の2色をラインナップしています。

雨や日差しなど季節にもまれ、時とともにゆるやかに移り変わる風合いをお楽しみいただけます。

2019年度iFデザインアワード、2018年度グッドデザイン賞受賞。

■品名	SOLIDO typeM_LAP (ソリド タイプエム_ラップ)	SOLIDO typeM_FLAT (ソリド タイプエム_フラット)
■色名	鉄黒(てつぐろ) / セメント	鉄黒(てつぐろ) / セメント
■寸法	910mm×414mm×5.5mm / 枚 (働き910mm×182mm)	①606mm×303mm×6.0mm / 枚 ②606mm×151.5mm×6.0mm / 枚
■用途	内外壁用	内壁専用
■希望小売価格※ (税抜)	5,250円/m ²	①5,430円/m ² ②6,520円/m ²

※：価格は、製品本体のメーカー希望小売価格です。工事費などは含まれておりません。